

◆ 単元名 「暮らしの中の政治」

◆ 単元の展開

- ① 自分たちのまちで見つけた暮らしやすさの工夫を紹介し合う。
- ② まちで見つけたことは、誰が、何のためにしているのかについて調べる計画を立てる。
- ③ 人々が利用する制度やまちのあり方について、住民たちはどのような願いをもっているのか調べる。
- ④ 地方公共団体が、人々が利用する制度やまちづくりにどうかかわっているのか調べる。
- ⑤ 住みよいまちにするために、住民と地方公共団体がどのようにかかわり、協力しているのかを調べる。
- ⑥ 住民の願いは、政治の働きを通してどのように実現していくのかを考える。
- ⑦ ニュースを集めて感想や意見を発表し合い、自分たちの暮らしと憲法のかかわりを調べる計画を立てる。
- ⑧ 日本国憲法はわたしたちの暮らしとどうかかわっているのかを、具体的な事象から調べる。
- ⑨ 国民主権の意味や、その具体的な内容を調べる。
- ⑩ 基本的人権の意味や、その具体的な内容を調べる。
- ⑪ 平和主義の意味や、その具体的な内容を調べる。
- ⑫ 国会・内閣・裁判所はどのような働きをしているのか、それぞれがどのように関係しているのかを調べる。
- ⑬ 投票の制度について知り、選挙の意義や課題について考える。
- ⑭ 模擬投票を体験し、これからの政治参加の意義・大切さについて話し合う。【本時】

◆ 本時の学習

◇ 本時の目標

模擬選挙で根拠を持って判断することを通して、政治に参加することの大切さについて考える。

◇ 展開

- ・ 選挙制度についての前時の復習と本時のめあての確認をする。
- ・ 模擬投票を行う。
- ・ ワークシートに思いを書き、投票前の自分の考え、投票の決め手について発表し合う。
- ・ 投票結果を知り、模擬投票の感想を発表し合う。
- ・ 多数決の意義や課題、棄権や白票の存在、現行の選挙での低い投票率の問題などについて感じたことを話し合う。
- ・ 未来の自分にメッセージを書く。

◇ 指導上の留意点（指導の効果を高めることや政治的中立を保つこと等の観点から留意したこと）

- ・ 候補者のマニフェストの優位性に差がないよう、題材設定した。
- ・ 実際の政党の主張や主義と合致し、特定されることがないように、内容に配慮した。

<補足>

- ・ 模擬選挙は、児童の中から立候補者を出すのではなく、架空の政党・立候補者を授業者側が提示しました。
- ・ 投票した児童は、  
「与党だから政治に生かされそうだから」  
「女性の立場で女性議員に頑張ってほしいから」  
「この政策を大事にしているから」  
といったそれぞれの観点で、投票理由を明確にして、ふり返りをしています。
- ・ また、授業では、現行の小選挙区比例代表制についても触れ、比例代表制での復活当選の仕組みがあり、ここで（模擬投票で）落選しても、最終的に当選する可能性もあることを児童は知って、今の選挙制度への関心を、より高めていました。

<参考> 授業で使ったスライド（抜粋）



## バーチャル 選挙

4人の候補者から  
1名選び、投票しよう！

△木	○野	千☆	二◇
△三	○メ	☆☆る	◇
景気	教育	福祉	エネルギー
対策	問題	対策	問題
A党	B党	C党	D党
(与党)			

## 政治の方針 …国会で決める

選挙で選ばれた国民の代表  
( 国会議員 ) が議論して  
政治を進める